



辞令交付式前宣  
伝 4月2日

ようこそ  
私たちの学校園に  
歓迎 新採用者540人  
幼15人、小299人、中226人

発行 大阪市学校園教職員組合

大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)  
編集・発行人 中路 龍太郎

TEL 6910-8700 http://osaka-shikyo.sub.jp/  
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



## 教育・職員基本条例案 市会 継続審議 府議会強行 たたかい続く



どの職場でも希望に満ちて新年度を迎えておられることでしょう。

今、大阪市の教育は大きな岐路に立たされています。「子どもの成長・発達のための教育」か「特定の政治勢力の考えに基づいた人材育成」か。教育・職員



2条例撤回市会閉会日行動 11月3日

大阪市会閉会本会議の2月27日、「市教育行政基本条例案」「市立学校活性化条例案」「市職員基本条例案」の撤回と慎重審議を求め、大阪市中路委員長が市会各会派の文教経済委員の議員に要請書を手渡しました。

同日開かれた市役所前の集会で鍋田書記長は、「子どもたちが給食の時間に「先

生、留年あるの」と心配していること、「選択制で学校がなくなる」との懸念が地域にあることをあげ、街頭宣伝でも3月に入って署名に列がでるようになってきている運動の前進に確信を持ち(条例反対署名は22万1437人分提出)、撤回までたたかおうと訴えました。

大阪市会では条例案を継続審議としました。5月市会に向けて4月の委員会審議も予定されており、たたかいは継続となりま

大阪市国旗掲揚、国歌斉唱条例が維新の会、公明、自民の賛成で2月28日成立しました。市教委は翌29日、「起立するよう粘り強く指導」

「従わない場合には、市条例に反する状態にならないように、職務命令を行うこと」を通知しました。市教協は3月2日撤回を求める抗議

月23日可決・成立しました。大教組は、「戦後の教育と公務員制度を根本から否定し、憲法と教育の条理、民主主義を蹂躪するもの。市条例廃案に全力をあげる」との抗議声明を出しました。

同日行われた抗議

### 橋下教育「改革」に立ち向かい 励ましあえる職場づくりを

執行委員長 中路 龍太郎

基本条例案の特徴は「市長の言いなり」「留年」「学校序列化」「学校統廃合」等々です。英・米でも破たんが証明済の新自由主義の教育改革です。

「習熟度別の最後の姿が留年制度」との橋下市長の言葉に子どもたちがおび

え、学校選択制は「地域の学校がなく

「どの子にも確かな力を付けた」「みんなで助け合い・励まし合える職場にしたい」「悩みを語り合える仲間がほしい」

そんな願いをみんなでかなえましょう。大阪市教は、あなたと共に歩みます。

はあ、疑問続出です。

「君が代斉唱の口元チェックや職員思想

調査は民主主義の国で許されない(大教組)と訴えました。

### 子ども主人公の卒入学式 フロアー形式守る

声明を出しました。市教委は中学校卒業式で不起立があったとして3月14日、すべての教職員に起立・斉唱の職務命令を行うことを校長に通知し異常な事態となりました。

学校園では子どもが主人公の卒入学式にするための努力が続けられ、今年もフロアー形式を守った学校もあります。

最高裁判決にもあ

るように個人の歴史観・世界観は尊重されなければならず、積極的な妨害でない行為に対する処分は絶対に許せません。大阪市教は子ども、保護者、教職員の内心の自由を守る取り組みを強めます。



御堂筋パレード=3月18日

### 分会会議を開きましょう

新年度のスタート!職場に新しく赴任した組合員を歓迎し、さっそく分会会議を開きましょう。そして、分会責任者や青年担当、ニュース係など、組合員の皆さん一人一人が役割を担えるような新

しい分会体制を決め、組合の大会の代議員を決め、今年度とりくみを共有しましょう。そして、大阪市教の分会として管理職に申し入れをしましょう。また、一人分会や二人分会などでも

隣の分会や異種校間で顔合わせするなど近くの仲間と集まりましょう。また、赴任してき

た新しい仲間にもうこそわたしたちの学校園へを手渡し、歓迎し、大阪市教の分会があることを知らせ、未組合員に是非大阪市教へと、働きかけましょう。

また、講師や青年の人に、「先輩のワザ伝授」や「しんかんフェスタ」、支部の歓迎会など、組合を知ってもらうチャンスと位置付け、声をかけ、分会ごと

に参加するとともに、仲間が増えるとりくみとして成功させましょう!

### 大阪市教 定期大会

5月19日(土) 13時受付

天王寺区民センター  
谷町線・四天王寺前夕陽丘

新採用者・講師歓迎

### しんかんフェスタ

絵本作家

講演 長谷川義文さん

### レセプションパーティー

日時 4月21日(土) 14時

会場 たかつガーデン

(地下鉄谷九・近鉄上六)

第3回 先輩の「ワザ」伝授連続講座

5月12日(土) 12:30

キャンプファイヤー講習

四條畷市立野外活動センター

## なくそう原発 集会に8000人



東日本大震災から1年の3月11日、震災復興と原発ゼロ、自然エネルギーへの転換などを求めて府内各地で集会が行われ、原発ゼロの会・大阪主催の扇町公園での集会には8000人が参加。手作りプラカードなどを手に原発のない社会を実現しようというアピールのパレードしました。

集会で宮本 恵一市立大名 誉教授は、40年前この地で公害反対の集会を開き日本の公害対策を変えての出発点となった、その歴史をついで原発ゼロに向かおうと訴えました。

集会決議は、国、府はすべての原発を廃止し、自然エネルギーへの推進に政策を転換すること、関西電力は大飯原発3・4号機を再稼働しないこと、若狭湾の原発をすべて廃炉にすることを求めました。

大正北中 河本圭司 「賠償金から税金を取ろう」としている「信じがたいお話を聞くことができませんでした。まずは、正確な情報を知ることが、大切だと思えました。今後、自分出来ることから少しずつ、協力したいです。」

榎並小 馬場史章 「震災から一年。原発が発電停止しているのに、実際、電力は不足していない。発電効率の良いエネルギー？ 事故が発生すれば、甚大な損害が発生するし、廃炉にするにも長期に渡って莫大なコストが必要。私たちは正しい情報をつかまなくてはならない。」

学校教育フォーラム(学校選択制と中学校給食について)が3月20日淀川区ではじまり、全区で行われる予定です。橋下市長は区長会議で「区民の意見を聞く場を設け、意見集約する」とし、「公募」という名の市長言ひなりの区長に学校選択制などを決定させようとしています。

淀川区のフォーラムでは、「東三国小に孫が行く。小学校は基礎的教育でしよ。読み書き、そろばん。東三国小ではなく、新高小を選ばなければならぬ。格差あったらおかしいでしょ。それでは困るんです」

「義務教育は選択しなくていい。地域にあって、地域の住民が見守って育てる。地域の人が子どもを守る。よその所へ行ったら守れない」「地域でボランティア活動をしている。小学校の『はぐくみ活動』で各種団体ととりくんでいる。地域で育ててください」と(市教委は)言っています。

## 学校選択制 統廃合許すな 教育フォーラム始まる

### 区長会議の検討課題(1月25日)

- 公立小中学校の学校選択制
- 中学校給食
- 過少校の統廃合
- 公立小中学校の学力問題の対策
- 幼稚園民営化

「戦略会議で市長は統廃合の道具と言っている。実は隠れた目的があるのではないかな」と「懸念の声が相次いだ」(朝日3月21日付) 会となりました。

中学校給食については「デリバリー方式がっかり。小学校と同じ給食にしてほしい」との要望が出され、市教委は、「デリバリー方式。暖かいご飯に冷蔵庫保管のおかず、汁わん、牛乳。おかずは他都市でも冷たくて

定期健康診断について正しいデータが出ていないなど問題が残っていることから、調査継続や今後具体的な取り組みが必要であると要望しました。

定期健康診断については、要求が出ている乳癌・子宮癌検査の追加と、再検査についての職免等の措置の関係機関への働き掛けを要望しました。

## 市労働安全衛生協議会 定期健診充実を要求

第3回大阪市教職員労働安全衛生協議会が3月29日開催され、年間総括と事業予定・定期健康診断等事後措置実施要領の策定・長時間勤務教職員に対する健康障害防止対策について活発な議論が交わされました。

「時間外勤務時間等の調査」終了提案に、休憩時間が取れない、休憩時間

## 99%の力あわせて 3/6 春闘宣言集会

「99%の力をあわせて」をメインテーマに3月6日春闘宣言集会が開かれました。オープニングは「職員基本条例案絶対おかしきよ！」をテーマにした寸劇で闘いをアピール。記念講演は1月2月と



アファガニスタンを訪れたフリージャーナリスト西谷文和さん。アファガニスタンも国内外の政治も、橋下問題も「根は一緒」。99%の力をあわせてがんばるしかない」と映像を交えたテンポのある話で元気が出ました。闘いの最前線から、保育行政の劣悪さと最低基準の切り下げ、福祉関連補助金カット、世代間格差をおおる橋下市長、路線バス存続の危機などが語られました。

## 2012年度 本部執行部

役員	氏名	役職	氏名
執行委員長	中路龍太郎	執行委員長	大中重範
副委員長	鍋田仁史	副委員長	城寿美香
書記長	宮城登	書記長	今上あゆみ
書記次長	前垣泉	書記次長	馬場史章
会計委員	東三郎	会計委員	中野晴之
執行委員	河村陽子	執行委員	浜口徹
	前田陸男		諫早健義
	吉永真弓		黒川佐登子
	前田陸男		甲ノ由利子
	小林優		

## 退職されたみなさんを囲む会

5月25日(金)  
18時30分~  
パル法円坂  
(地下鉄谷町四丁目 JR森ノ宮 下車)

## 国際女性デー

国際女性デー(3月8日)でアンベール雨宮裕子さんは、汚染された大地と海を3月11日の前には戻せないこと、その事実を一人ひとりが深く受け止めてこんな事故が二度と起こらないように日本と地球の今とこれからに責任をもち、理不尽な悲劇が繰り返されないように「NON」と言える自分を育てようという提案をしました。

生命を支える安全な農産物を手に入れるため、市民が自分で自分の食と環境の管理に取り組みむ一歩として、フランスの「マルシェ」(朝市)と「パニエ」(買い物カート)を紹介。とれたての野菜が農家の人から直に買えるよう日本でも広めようという話がありました。

## たんぽぽ だより 4月

原発ゼロの集会に参加しました。小雨のなか大勢の人の熱気があふれていました。集会に参加して、福島から参加された方の生活を聞いた。原発が生命に及ぼす恐ろしい話を聞くことで改め

て、原発に依存せずに、安全で安心な自然エネルギーに移行しなければならぬという思いになりました。もっと言うと、原発は一部の資本家の私腹を肥やす道具で、安全でも安心でもなく、地球

に優しくも低コストでもなく、全てにおいてやっかいなものだということがようやく理解できるようになりました。一年経った今でも被災された方々の生活は戻っていません。まだまだ先の見えな

